



サザンクロス

vol.14

KINAN HOSPITAL
OFFICIAL INFORMATION PAPER

January 15th.2011

チーム医療元年

NHKの報道によると、都内の出前業者や牛乳配達業者が、商品の配達時に一人暮らしの老人の安全を確認する活動をしている。高齢化により独居老人が増加し、地域の結びつきが希薄になり、介護や医療の谷間にいる老人の健康状態を把握できなくなってきたからである。

厚生労働省の試算によると2004年に約100万人であった年間死亡者数は、団塊の世代が75歳となる2025年には年間約160万人に増加する。病院のベッドや職員は不足して、多くの国民が家庭やケアハウス、介護施設など病院以外で最後を迎えることになる。しかし、個々の患者にあった安全で質の高い医療への要望は高くなるばかりである。

病院長
山本 忠生

この2025年問題を解決する切り札は「チーム医療」と言われている。「チーム医療」といえば特定看護師問題と受け止められがちであるが、医療とか介護、支援といった枠組みを離れて、患者さんの要求に専門的な知識や技能を持った人がチームを組み、対応することである。患者さんから見れば、当然病院で「チーム医療」は行われていると思っている。しかし、専門職は常に人手不足で、他の分野の専門職と十分な意思疎通を持ってないことも多い。患者さんや家族は、どの専門職が、どのような技術を持ち、どのような時に援助してくれているのか知らないことがあり、スタッフの間でも専門職の役割や仕事内容が十分理解されていないことも多い。今までの専門業務は医師、看護師の陰に隠れて、注目されなかったためであろう。個々の医療専門職は、教育や訓練の内容にばらつきがあり、知識や技術を統一するには時間がかかる。しかし在宅医療の分野は拡大し、医療内容は複雑化高度化して、病院でも地域でも深い知識や技術を持った専門職が待たれている。

万両



千両



今、注目されているのは、学生の間から他の分野の教育を行うIPE(専門職連携教育)である。異なる分野の専門職が、同じ教室で講義を受けてはじめてお互いの立場が見え、理解できる。「チーム医療」では専門の知識と腕前を磨くだけでなく、仕事の隙間を埋めるコミュニケーション技術も重要である。新しく発生した問題こそ、すぐ解決すべき問題であるが、どこが受け持つかわからない仕事は手付けられないことが多い。どこの仕事かわからないので手を引くのではなく、どこまでできるかを考えれば、チームに許される業務の範囲は広がる。

目の前に迫っている2025年問題の解決は、他の人の仕事ではなく医療のプロ集団であるわれわれの仕事である。

医療の現場から

4階西病棟看護師長 三谷 浄美

4西病棟の紹介をさせていただきます。4西27床、NICU10床の小児科病棟です。予防医学の発展に伴い、入院患児の減少があります。しかし小児科スタッフ一同は「子どもの命を守る」使命感で勤務しています。

平成22年の出来事は、平成17年から新病院になって初めて、院内学級が4月、11月と開校されたことです。院内学級の部屋が倉庫になりつつあった状況から、学校での授業と同じ環境を提供できるようになりました。1名ずつの院内学級でしたが、時おりローカまで笛の音が聞こえてきました。

小児科病棟と言う事で、季節折々の飾り付け、ポスターを飾っています。イベントとして7月の七夕、12月のクリスマスは病棟挙げての企画として取り組んでいます。7月の七夕の様子は、以前サザンクロスで写真での紹介させていただきました。



今回は12月のクリスマスについて紹介させていただきます。クリスマスと言えばツリーにイルミネーションです。毎年中央監視室の方をお願いして4階中庭に飾り付けしていただいています。皆様のおかげで少しずつ飾り付けを増やすようにしていますので、皆様方の御協力をお願いします。

飾り付けた日から毎日夕方17時に点灯しています。他の病棟患者様にも和んでいただけたでしょうか？

入院中の患児に元気になっていただくために、12月22日にクリスマス会をしました。音楽を鳴らしながら先生方がそれぞれサンタクロース、トナカイ、星になって各病室を回りました。(何事が起こったのか分からず泣き出す患児も。)看護師手作りのプレゼントを患児に手渡し、記念に写真を撮り、出来上がりを家族にプレゼントしました。クリスマス会は毎年行っていますので、機会があれば見に来て下さい。



株式会社 大黒

本社：〒640-8525 和歌山県和歌山市手平 3-8-43

- 和歌山事業所 : 〒641-0012
和歌山市紀三井寺855-71
- 紀三井寺事業所 : 〒641-0014
和歌山市毛見 1111-1
- 大阪支店 : 〒550-0002
大阪市西区江戸堀 3-5-27
- 南大阪支店 : 〒594-0031
和泉市伏屋町2-16-11
- 紀南支店 : 〒646-0011
田辺市新庄町3778-2
- 神戸支店 : 〒650-0023
神戸市中央区栄町通5-2-6
- 奈良支店 : 〒630-8115
奈良市大宮町4-295-10
奈良朝日生命川口ビル1F
- 関西空港営業所 : 〒590-0523
泉南市信達岡中919-1
- 新宮営業所 : 〒647-0052
新宮市橋本 2-5-61
- 東京麹町オフィス : 〒102-0083
東京都千代田区麹町3-5-2
BUREX 麹町301号
- 京都丸太町オフィス : 〒606-8395
京都市左京区丸太町通川端東入
東丸太町32-3 上田ビル3F

DAIKOKU MEDICAL SUPPLY

保健・医療・福祉の分野で、

「生命を守る人の環境づくり」を通じて

地域の発展に貢献することが

私達の使命です。



SEIKO MEDICAL

医療の先へ。セイコーメディカル株式会社

- 本社
〒640-8287 和歌山県和歌山市手平 3-8-43
TEL: 073-435-2333 FAX: 073-435-2223
- 大阪支店
〒595-0012 泉南市北豊中町2丁目5番28号
TEL: 0725-31-3610 FAX: 0725-31-3619
- 阪大前営業分室
〒641-0012 和歌山県紀三井寺708番地の13
TEL: 073-448-3767 FAX: 073-448-3761
- 田辺営業所
〒648-0011 田辺市新庄町 2744 番地
TEL: 0739-25-4535 FAX: 0739-25-4578
- 新宮営業所
〒647-0072 新宮市橋本 20 番 22 号
TEL: 0735-31-9130 FAX: 0735-31-9133
- 奈良営業所
〒832-0082 天理市院前町 56 番地の 4
TEL: 0743-64-3607 FAX: 0743-64-4810

地域医療連携だより

医師会の勉強会係



杉本胃腸科・外科
杉本 恵洋

開業が1997年の4月だから、もう14年近くになる。

開業して数年後、自宅に立石功元医師会長が突然訪れた。何だろうと思って外に出た。後で考えれば家の中に入ってもらってゆっくり話をすれば良かったのだが、外で立ち話をした話は、医師会の学術担当理事を引き受けてくれという内容だった。全くいきなり聞く話だったので、何も知らないのに断ることも出来ず、オッケーした。以後12年近く学術担当理事をやっている。

前任者の山西康仁先生より引継ぎを受け、最初は教えられた通りにやった。仕事は主に3つ。1つ目は3医師会合同講演会の開催、2つ目は第3木曜の医師会定例勉強会、3つ目は県医師会学術担当会議に出席して県医師会の教育講演の演題を決めること。当初、講演会の開催は少なかったが次第に増えてきた。

ここ5～6年では毎月2～3回は開いている。初めはメーカーさんの持ってきてくれた企画通り認めていた。気が付くと殆ど高血圧、糖尿病、高脂血症の話ばかりである。これでは飽きてくると思い、なるべく今まで話していなかったような内容にして注文をつけるようにした。それでも大きな変更は無理なので、全くメーカーさんを離れて、甲状腺や膠原病の話は県医師会の教育講座でやってもらうことにした。さらに最近では聴きたい講演内容や演者を先に決めて、それをバックアップしてくれるメーカーを捜して、講演会を開くことも多くなった。

本年も8月定例勉強会の夏の特別企画に、和歌山日赤の国際医療救援部長の数本充雄先生をお招きして「紛争・災害地における赤十字医療活動」の講演をして頂いた。日本の医療とかけ離れた世界があることを知らされ、正に目からうろこであった。

第3木曜の定例勉強会は、紀南病院や南和歌山医療センター、白浜はまゆう病院の先生方に演題を出してもらい、3題勉強する。演題が足りない時は先生方に電話をかけまくり、何とか確保している。大切なのは、ずっと続ける事である。欠かさず続ける事で病診連携に役立っていると確信する。

講演会は和歌山医大の教授を多く招聘する。その理由の1つは、県の医大だから田辺の医師への顔見せになること。もう1つは、勿論、最近の医学を勉強できることである。地元出身でテレビでも有名になった整形外科吉田宗人教授はスケジュールが一杯のため、お願いしてから講演会を開くまで約1年を要した。講演は盛大であった。

病院の先生方は定期的に学会に出席されるので、世の中から遅れていくことは少ないと思われる。開業医はなかなか学会に参加できない。他方診療の範囲は広い。勉強するならいくつも異なった分野の学会に参加しなければいけない。それを居ながらの地元でやろうと思う。高血圧や糖尿病などについての講演会が多いが、できるだけ多方面の講演会を開こうと思う。自分自身の勉強になり、人との繋がりが出来、医師会員にも喜んでもらえる学術担当はやりがいがある。

昔の平知盛だったか、辞世の句に「見るべき程の事をば見つ。」と言ったが、この広い世界、長い歴史の中で我々が見たり



聞いたり経験できるのはごく一部である。知らない事ばかりの世界で自己満足してはいけない。

学術担当に任命して下さった立石元会長に感謝しつつ、これからも多くの人の手を借りながら、医師として共に色々な勉強をして行きたいと思う。

看護学校だより

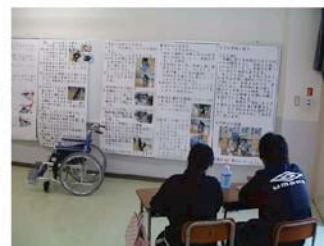
学校祭開催 約210名来場！！

今年のテーマは「愛・ふれあい」

地域の人たちと笑顔でふれあい、人とのつながりを大切にしたいという思いが込められました。

クラス発表は、1年生骨とカルシウム摂取、2年生ストレス解消に役立つ体操、3年生安全な車いす操作について行い、野菜や花などの展示即売や模擬店、献血、骨髄バンク登録などへの協力を行いました。

学生が企画・運営、地域と交流を図ることで、自主性・協調性・創造性を養うことの一助となったのではないかと思います。なお、模擬店などの利益は盲導犬協会ライトハウスに寄付予定です。



第36回宣誓式

さわやかな秋晴れの中、たくさんの来賓、保護者が見守る中で第36回生の宣誓式が行われました。ナイチンゲール像より厳粛かつ清楚なキャンドルの灯火とナイチンゲールの精神を受け継ぎ、一人ひとりが理想とする看護師像を述べ、看護学生としての決意を新たにしました。

第28回市民健康講座について

インフルエンザ・大腸菌といった細菌やウイルスに感染して、病院で治療した経験をお持ちの方も多いかと存じます。細菌やウイルスといった病原体が体内に侵入して増殖し、発熱、下痢、せき等の症状が出ることを感染症と言いますが、できれば感染症にはかかりたくないものです。そこで、この機会に家庭でできる予防方法を一緒に考えてみませんか。

日時 平成23年1月30日(日)
時間 午後2:00~3:00
会場 紀南病院 3階講堂
演題 家庭でできる感染対策
～見えない病原菌から
自分や家族を守るため～
演者 中本 千秋 (感染管理認定看護師)

第27回市民健康講座について

平成22年11月21日(日)に「閉塞性動脈硬化症」と題しまして、市民講座を開催しました。普段耳慣れない病名ですが、食生活の欧米化に伴って最近増えてきた閉塞性動脈硬化症について、当院循環器科医長奥本泰士が解説をしました。食習慣の見直しが予防につながることを、皆様ご納得されていました。

いただきました。

12月14日、市民グループ「いきいき和歌山がんサポート」の石井浩子理事が当院を来訪され、当院でがん治療を受けている患者さまのために、会員の方々手作りのタオルの帽子



30個のプレゼントをいただきました。ありがとうございました

編集後記

今年の干支は卯、すなわち兎である。長い耳に大きな後ろ足、ちょこんと座ってニンジンを食べる姿は何とも愛らしい。

ところで、このウサギ、「ウサギと亀」の昔話にもあるように、すばしこい動物の代表格である。大きな後ろ足で飛ぶように駆ける様は見ていると気持ちが良い。その素早さから、兎は「一気呵成」を象徴するものとして、「始め処女の如くにして、後脱兎の如し」と中国の兵法書にも取り上げられている。

物事を良い方向に導くには、時として一気呵成の勢いが必要である。年始にあたって、今年は兎にあやかり、勢いよく物事に取り組もう、と決心した。ただ、途中で寝っ転がって亀に追い抜かれてしまわないようにくれぐれも気をつけないと。

(白草 記)



田辺市消防本部との自衛消防訓練

平成22年11月12日(金)に田辺市消防本部との合同自衛消防訓練を実施しました。6階病棟で火災発生という想定で、初期消火と避難訓練をしました。そして逃げ遅れた2名については消防隊がはしご車を用いて救助する訓練をしました。

田辺市消防本部との合同訓練は初めての試みでしたが、迅速な救助活動ができとても有意義な訓練でした。



基本理念

私たちは、患者さまに優しさをもって接し、皆様から信頼される医療を目指します。

紀南こころの医療センター

やさしさをもって、信頼と満足の得られる医療を行います。

社会保険紀南病院

〒646-8588 和歌山県田辺市新庄町 46-70

Tel 0739-22-5000 Fax 0739-26-0925

<http://www.kinan-hp.or.jp>